2010年10月 第12巻第7号 (通巻139号)

社団法人日本工作機械工業会 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 Tel:03-3434-3961 Fax:03-3434-3763 URL http://www.jmtba.or.jp

——————————————————————————————————————		_
		•
1. 工作機械統計・産業動向		
◆米国工作機械受注統計(8月)		1
◆米国工作機械受注統計(地域別)		2
◆中国工作機械機種別輸出入統計		
(2010年1~6月)	;	3
◆台湾工作機械輸出入統計(2010年1~6月)	•••	4
2.主要国・地域経済動向		
◆米国:製造業設備稼働率は若干増加(8月)		4
◆米国:新規/中古設備購入の経費計上措置	を	
2011年まで延長		4
◆米国:製造業部門、14ヵ月連続で成長		
(9月)	•••	5
◆国際金属加工展「AMB 2010」が閉幕	•••	5
◆独工作機械業界が順調に回復、生産高は		
今年も減少見通し		6
◆ドイツの8月機械受注45%増に ······		6
◆独機械業界生産高、2011年は8%増見込む	• • • •	6
◆ドイツの対ロシア機械輸出、好調続く	•••	6
◆ドイツ:VDW 専務理事、ドイツ工作機械		
産業の現状を語る		6
◆欧州: EU主要国製造業景気動向指数(D.I.)		
と資本財生産月次推移(9月)	• • •	7
3. 工作機械関連企業動向		
◆米国: Hurco社、2010年度第3四半期の		
決算を発表		8

◆ユーザー関連トピックス……8 5. 日工会外需状況(9月) ……………12

4. その他

1. 工作機械統計・産業動向

◆米国工作機械受注統計(8月)

AMT (米国製造技術工業協会) 及びAMTDA (米国 工作機械販売協会発表の受注統計(USMTC)によると、 2010年8月の米国切削型工作機械受注は、2億3,441万 ドルで前月比6.0%減、前年同月比103.3%増となった。

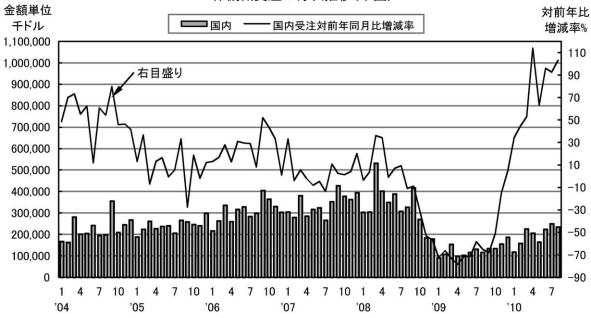
AMTのWoods専務理事は「通年の夏季の景気減速に も拘らず、2010年1~8月の受注は前年同期比60%増と なった(成形型含む)。12月まで有効となった特別償却 の延長の国会での決定により今年の残月の受注は力強 いものとなることを予測している。」と述べた。

(USMTC レポート 10月11日付)

米国工作機械(切削型)受注統計

	,	金額単位:千ドル)		
年 月	受	注		
— /J	台 数	金額		
2009年1月	694	91,390		
2月	780	107,769		
3月	963	153,364		
4月	855	99,162		
5月	814	103,608		
6月	853	117,771		
7月	907	131,996		
8月	806	117,583		
9月	920	136,133		
10月	993	134,932		
11月	957	156,807		
12月	1,226	187,293		
2009年累計	10,768	1,537,808		
2010年1月	767	118,281		
2月	909	157,762		
3月	1,269	225,762		
4月	1,232	206,130		
5月	1,139	164,908		
6月	1,381	224,426		
7月	1,351	249,248		
8月	1,382	234,412		
2010年累計	9,430	1,580,929		

工作機械受注の月次推移(米国)



◆米国工作機械受注統計(地域別)

(単位:百万ドル)

‡	也 域 別	2010年8月 (P)	2010年7月	前月比 (%)	前年同月	前年同月比(%)	2010年累計 (P)	2009年累計 (R)	前年同期比(%)
全	切削型	234.41	249.25	-6.0	115.32	103.3	1,580.93	903.34	75.0
土米	成形型	12.01	12.18	-1.4	15.74	-23.7	116.34	141.57	-17.8
	計	246.42	261.43	-5.7	131.06	88.0	1697.27	1044.91	62.4
-Hz	切削型	35.50	50.36	-29.5	21.53	64.9	279.01	177.08	57.6
北東部	成形型	3.66	1.19	207.2	2.39	52.9	19.75	22.96	-14.0
部	計	39.16	51.56	-24.0	23.93	63.7	298.77	200.05	49.3
南	切削型	28.62	25.23	13.4	20.53	39.4	224.36	131.11	71.1
部	成形型	2.09	0.29	625.1	2.61	-20.1	17.75	20.85	-14.9
미	計	30.71	25.52	20.3	23.14	32.7	242.10	151.95	59.3
H-	切削型	79.15	88.97	-11.0	31.89	148.2	478.23	248.53	92.4
中西部	成形型	3.44	5.05	-32.0	3.55	-3.1	30.98	45.44	-31.8
当	計	82.59	94.02	-12.2	35.44	133.0	509.21	293.98	73.2
中	切削型	67.66	57.03	18.6	27.88	142.6	413.72	226.46	82.7
部	成形型	1.47	3.93	-62.6	3.50	-58.1	36.50	28.76	26.9
미	計	69.13	60.96	13.4	31.39	120.2	450.21	255.22	76.4
西	切削型	23.48	27.65	-15.1	13.48	74.2	185.61	120.16	54.5
部	成形型	1.36	1.72	-21.1	3.69	-63.2	11.37	23.56	-51.7
ᄞ	計	24.84	29.37	-15.4	17.17	44.7	196.98	143.72	37.1

P:暫定値 R:改定値

四捨五入により合計値及び%は一致しない場合がある。

出所: USMTC

◆中国工作機械機種別輸出入統計(2010年1~6月)

(単位:千米ドル)

▼ 1 口工							(単位:千米ドル)						
₩ 任 夕	0010	E1 0 P	輸	出 F1-6月 前年比(%)			0010	午1 0日	輸	<u>入</u>	並左	LL (0/)	
機種名	台 数	F1-6月 金 額	台数	F1-6月	台数		台数	年1-6月	台数	年1-6月 金 額	台数	比(%)	
金属切削型工作機械計				金額		金 額		金額				金額	
	470,554	554,218		458,601	50.11	20.85		3,152,052		2,380,438	50.05		
レーザー加工機	6,791	44,115	4,260	28,506	59.41	54.76	2,007	265,639	901	117,599	122.75	+	
超音波加工機	13	114	24	283	-45.83	-59.83	81	1,352	110	1,813	-26.36	+	
NC放電加工機	959	27,868	446	15,081	115.02	84.79	918	81,527	506	46,550	81.42	+	
非NC放電加工機	73	509	91	698	-19.78	- 27.02	133	2,433	60	3,048	121.67	-20.18	
ガス切断機・プラズマ切断機(NC)	43,080	23,158	48,552	24,492	-11.27	-5.45	1,714	17,801	919	23,109	86.51	-22.97	
立て形マシニングセンタ	283	17,603	217	14,477	30.41	21.60	11,999	777,536	2,480	283,411	383.83	174.35	
横形マシニングセンタ	34	4,291	37	6,581	-8.11	-34.80	1,330	455,092	929	366,945	43.16	24.02	
門形マシニングセンタ	15	2,555	16	8,375	-6.25	-69.49	212	147,732	147	93,827	44.22	57.45	
その他のマシニングセンタ	56	2,919	22	2,566	154.55	13.78	32	16,735	109	56,873	-70.64	-70.57	
ユニット	1,232	3,614	763	4,338	61.47	-16.69	93	32,375	106	49,649	-12.26	-34.79	
複合加工機	100	593	62	536	61.29	10.63	204	37,739	190	110,375	7.37	-65.81	
NC横旋盤	6,490	81,077	3,509	44,350	84.95	82.81	2,414	214,099	1,148	132,083	110.28	62.09	
非NC横旋盤	9,676	45,510	7,763	40,996	24.64	11.01	1,064	11,203	295	6,165	260.68	81.73	
その他のNC旋盤	103	16,593	67	11,387	53.73	45.71	576	104,848	479	127,886	20.25	-18.01	
その他の非NC旋盤	22,017	23,811	17,751	25,230	24.03	-5.62	396	4,205	294	4,390	34.69	-4.23	
ウエイタイプユニットヘッド機	41	91	183	205	-77.60	-55.45	57	390	164	2,616	-65.24	+	
NCボール盤	35	3,717	18	1,231	94.44	201.90	370	57,086	221	61,659	67.42	-7.42	
非NCボール盤	0	0	0	0	0.00	0.00	1,651	5,341	1,106	4,501	49.28	+	
NC中ぐりフライス盤	8	8,740	10	7,215	-20.00	21.13	40	71,528	34	33,984	17.65	+	
非NC中ぐりフライス盤	118	5,270	157	4,959	-24.84	6.26	35	1,941	52	5,161	-32.69	+	
NC中ぐり盤	9	3,724	6	518	50.00	618.47	42	17,450	28	15,788	50.00	+	
非NC中ぐり盤	955	2,577	823	3,500	16.04	-26.38	41	2,559	30	1,373	36.67	86.37	
NCひざ形フライス盤	31	1,703	3	51		3,208.20	39	3,132	18	1,526	116.67	105.26	
非NCひざ形フライス盤	6,563	14,970	5,324	9,414	23.27	59.01	195	1,809	120	1,672	62.50	+	
NC門形フライス盤	39	1,428	15	551	160.00	159.09	169	64,750	76	72,068	122.37	-10.15	
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								·				+	
	42	744	82	2,465	-48.78	-69.79	428	44,677	316	52,721	35.44	+	
門形フライス盤(その他)	2	90	4	438	-50.00	-79.47	12	469	17	1,433	-29.41	-67.24	
その他のフライス盤	7,245	10,922	6,051	11,770	19.73	-7.20	340	6,216	220	2,534	54.55	+	
ねじ切り盤及びねじ立て盤	8,272	2,627	7,500	2,178	10.29	20.65	253	9,747	235	5,027	7.66		
NC平面研削盤	0	0	22	1,074	-100.00	-100.00	140	34,048	100	33,779	40.00	+	
非NC平面研削盤	750	6,472	503	3,878	49.11	66.92	701	7,825	619	6,018	13.25	+	
NC円筒研削盤	1	102	15	1,318	-93.33	-92.24	250	116,745	210	110,596	19.05	+	
NC内面研削盤	2	28	8	352	-75.00	-92.09	95	30,854	56	18,450	69.64		
その他のNC研削盤	16	1,173	30	5,596	-46.67	-79.03	202	103,226	154	111,081	31.17	-7.07	
非NC円筒研削盤	146	3,422	87	2,446	67.82	39.88	112	4,922	75	2,253	49.33	+	
非NC内面研削盤	2	9	5	76	-60.00	-88.10	26	1,392	13	276	100.00	+	
心なし研削盤	27	366	139	983	-80.58	-62.81	18	1,004	4	2,284	350.00	+	
その他の研削盤	81	1,100	126	3,521	-35.71	-68.76	149	4,775	117	2,957	27.35	61.51	
NC工具研削盤	5	1,304	1	2	_	_	328	60,639	260	44,688	26.15	35.69	
非NC工具研削盤	343,324	6,079	191,797	4,248	79.00	43.09	189	2,113	136	1,702	38.97	24.15	
ホーニング盤	67	377	59	350	13.56	7.64	67	21,688	117	29,021	-42.74	-25.27	
ラップ盤	197	2,318	140	1,126	40.71	105.91	723	30,060	536	26,040	34.89	15.44	
研削砥石	0	0	0	0	0.00	0.00	8,183	2,762	11,214	1,730	-27.03	59.66	
ポリッシ盤	0	0	0	0	0.00	0.00	341	13,812	281	12,893	21.35	7.12	
その他	0	0	0	0	0.00	0.00	474	8,909	283	10,905	67.49	-18.30	
門形平削り盤	2	108	1	81	_	_	8	328	146	2,795	-94.52	-88.28	
その他の平削り盤	7	60	14	6	-50.00	850.47	11	980	1,087	38,571	-98.99	-97.46	
形削り盤	135	719	89	545	51.69	31.94	1	2	4	60	-75.00	+	
立て削り盤	44	472	31	232	41.94	103.59	3	56	9	2,613	-66.67	+	
·一···································	6	139	5	65	20.00	112.58	62	19,645	2			3,9302.07	
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	96	3,402	93	4,049	3.23	-15.99	223	181,784	5	196	4,360.00	+	
非NC歯切り盤	8,169	5,895	10,250	5,392	-20.30	9.32	347	6,401	52	25,288	567.31	-74.69	
金切り盤及び切断機	0,109	0,093	10,230	0,392	0.00	0.00	1,158	31,130	193	198,257	500.00	+	
												+	
その他の工作機械 (出所:CMTBA)	3,195	2,184	6,311	1,729	-49.37	26.34	534	9,543	468	12,159	14.10	-21.52	

(出所: CMTBA)

◆台湾工作機械輸出入統計(2010年1~6月)

台湾工作機械機種別輸出入統計(2010年1~6月)

					(単位)	: 十USドル)		
機種名	#	渝 出	1	車	輸入			
機種名	2010.1-6	2009.1-6	前年比(%)	2010.1-6	2009.1-6	前年比(%)		
放電加工機	59,977	33,875	77.1	97,897	38,810	152.2		
マシニングセンタ	375,081	228,068	64.5	23,490	14,333	63.9		
旋盤	236,003	209,217	12.8	40,364	16,508	144.5		
ボール盤・フライス盤・中ぐり盤	156,125	102,829	51.8	16,894	9,802	72.4		
研削盤	71,026	39,992	77.6	21,649	32,193	-32.8		
歯切り盤・歯車機械	74,529	46,770	59.4	19,272	13,657	41.1		
切 削 型 合 計	972,741	660,751	47.2	219,566	125,303	75.2		

出所:海関進出口統計月報

台湾工作機械国別輸出入統計(2010年1~6月)

(単位: 千USドル)

(出仕・イロのいま)

輸出							輸	Ì	入	
順位	国 別	2010.1-6	2009.1-6	前年比(%)	順位	国	別	2010.1-6	2009.1-6	前年比(%)
1	中国・香港	603,760	322,149	87.4	1	日	本	159,089	65,904	141.4
2	米 国	57,291	78,038	-26.6	2	ドイ	ツ	23,545	26,770	-12.0
3	インド	53,474	24,935	114.5	3	スイ	ス	18,185	9,592	89.6
4	ブラジル	52,262	30,078	73.8	4	中国・	香港	15,745	11,929	32.0
5	タイ	51,611	33,682	53.2	5	米	国	13,942	9,285	50.2
6	マレーシア	48,206	21,222	127.2	6	韓	国	11,219	5,048	122.2
7	トルコ	42,964	15,649	174.5	7	イタ	リア	7,023	14,505	-51.6
	その他	360,727	344,162	4.8		その	他	21,273	15,048	41.4
	合 計	1,270,295	869,915	46.0		合	計	270,021	158,081	70.8

出所:海関進出口統計月報

2. 主要国・地域経済動向

◆米国:製造業設備稼働率は若干増加(8月)

2010年8月の設備稼働率(速報値)は、全製造業 で72.2%、耐久財製造業で70.3%、機械製造業で 72.9%となった。

前月比で見ると、全製造業では0.1ポイント、機 械製造業では0.4ポイント夫々増加したものの、耐

久財製造業では0.1ポイント減少している。

一方、前年同月比で見ると全製造業では4.6ポイ ント増加している。

(FRB Statistical Release G.17(419)/9月15日付)

2011年まで延長

米国中小企業雇用法が施行されている。新法は

◆米国:新規/中古設備購入の経費計上措置を

製造業者にとって大きな勝利であり、中 小企業の新規あるいは中古設備購入に対 する経費計上を認める179条を2011年ま で延長するものである。

また、新法は新規設備のみに適用され る50%ボーナス減価償却措置も2010税年 度まで延長する。

例えば、ある製造業者が80万ドルを投 じて新規/中古機器で設備更新した場合、 新たな179条の延長によって、同社は初年 度に資産の68%を減価償却することがで

米国製造業の設備稼働率月次推移



きる。同条項が延長されていなければ、その償却 率は28%であった。

80万ドル全額を新規設備購入に充てた場合、そ の製造業者は179条に加えて、ボーナス減価償却措 置を活用して資産の84%を減価償却できることに なる。

(米国製造技術工業協会 AMT プレスリリース 2010年9月27日付)

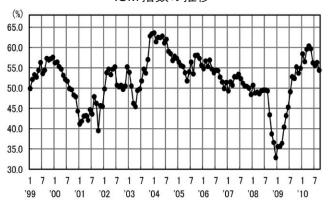
◆米国:製造業部門、14ヵ月連続で成長(9月)

米サプライ・マネジメント協会(ISM)の購買管 理指数 (PMI:製造業350社以上のアンケート調査 に基づく月次景況指数)によると、2010年9月の ISM 指数 (PMI) は54.4%と景況感の分かれ目であ る50%を上回り、製造業部門の活動も14ヵ月連続 で成長した。一方、経済全体の動向はPMIが上昇・ 下降の分岐点41.2%を17ヵ月連続で上回り、経済 成長を遂げた。

9月の調査結果について、ISM は次のようにコメ ントしている。「PMIは比較的順調だが、全体的な 状況は好調ではない。新規受注の伸びは引き続き 鈍化している」

なお、9月の製造業の景況感について、対象18業 種中、次の13業種が「企業活動を拡大した」と回 答している。アパレル・皮革製品、金属製品、電 気機器・家電製品・部品、鉄鋼・非鉄金属、雑貨、 輸送用機械、コンピューター・電子製品、家具類、 プラスチック・ゴム製品、化学製品、紙製品、機 械類、食品・飲料・たばこ製品。





ISM が発表した9月の主要個別指数の前月比変 動傾向は以下の通り。

項目	2010年 9月指数	2010年 8月指数	備考
ISM指数 (PMI)	54.4	56.3	8月比1.9ポイント低下。製造業は14ヵ月連続成長。9月のPMI (54.4%) は年率換算実質GDP成長率4.2%に相当。
生産	56.5	59.9	8月比3.4ポイント低下。拡 大の基準である50.4%を16 ヵ月連続で上回った。11 業種が成長を報告した。
新規受注	51.1	53.1	8月比2ポイント低下。15 ヵ月連続で増加した。7業 種が成長を報告した。
受 注 残 高 (季節調整なし)	46.5	51.5	前月比5ポイント低下。4 業種が増加を報告した。
サプライヤー納期	52.3	56.6	8月比4.3ポイント低下。8 業種が長期化を報告した。
在庫	55.6	51.4	前月比4.2ポイント上昇した。7業種が在庫増を報告した。
雇用	56.5	60.4	8月比3.9ポイント低下。8 業種が増加を報告した。
仕入れ価格	70.5	61.5	前月比9ポイント上昇。15 ヵ月連続で50%を超過。 13業種が上昇を報告した。
輸出受注	54.5	55.5	前月比1ポイント低下。15 ヵ月連続の増加。7業種が 増加を報告。
原材料輸入	56.5	56.5	前月比横ばい。13ヵ月連 続の増加。8業種が増加を 報告した。

(ISM Manufacturing Report on Business 2010年10 月1日付)

◆国際金属加工展「AMB 2010」が閉幕

独シュツットガルトで開催されていた国際金属 加工展「AMB 2010」が10月2日、閉幕した。9月 28日からの5日間合計で来場者数は8万6,000人以 上を数え、前回(2008年)の8万5,000人を上回っ た。出展企業数は29カ国から1,343社となり、過去 最高を記録。国外企業による参加は全体の25%を 占めた。主催者のメッセ・シュツットガルトが実 施したアンケート調査の結果によると、来場者の 98%が「AMBは今後国際見本市としてさらに重要 になる、あるいは、すでに重要だ」と回答した。

次回のAMBは2012年9月18日~22日までシュツ ットガルトで開催される。

(MaschinenMarkt 2010年10月5日付)

◆独工作機械業界が順調に回復、生産高は今年も 減少見通し

独工作機械業界の受注が順調に回復している。 上半期の受注高は前年同期から58%(国内51%、国外61%)増加。特に切削加工分野では75%以上拡大した。ドイツ工作機械工業会(VDW)が9月28日、デュッセルドルフで開幕した国際金属加工展「AMB 2010」(~10月2日)で明らかにした。

工作機械業界の受注高は昨年、経済危機の影響を強く受けて前年から55%も落ち込んだ。業績回復が始まったのは今年第2四半期からで、設備稼働率は7月に76.3%を記録。昨年の最悪時から約10ポイント改善した。6月末時点の受注残高は6.9カ月まで回復している。輸出は中国を中心としたアジアやブラジル向けがけん引車となり、今年第2四半期には前年同期の水準を取り戻した。

一方、上半期の生産高は20%減少した。受注から納入までに6週間~2年を要するため、受注の回復は生産高の増加にすぐには結びつかないという事情がある。生産高は今年通期でも12%減の90億ユーロとなり、前年(28%減の102億ユーロ)に引き続き縮小する見通しだ。プラスに転じるのは来年以降になると予想されている。

(VDW 2010年9月28日付)

◆ドイツの8月機械受注45%増に

ドイツ機械工業連盟 (VDMA) が9月30日発表した2010年8月の業界受注高は前年同月比45%増となり、これまでに引き続き高い成長を保った。ただ、増加幅が60%を超えた5、6月に比べると成長の勢いはやや鈍く、VDMAのエコノミストは先行きへの警戒感を示した。

8月の受注は国外が55%増えて全体をけん引。 国内も30%の伸びを記録した。特殊要因による統計上のブレが少ない3カ月単位の比較をみると、6~8月期は前年同期を52%上回った。国外が56%、国内も45%増加している。

(MaschinenMarkt 2010年9月30日付)

◆独機械業界生産高、2011年は8%増見込む

ドイツ機械工業連盟(VDMA)は7日、独業界の2011年の生産高が前年比8%増の1,750億ユーロに拡大するとの予測を発表した。伸び率は2010年予測の6%をやや上回るものの、世界的に景気の減速が見込まれることから、控えめな予測を提示した。新規受注は今後、鈍っていくというのがVDMAの見方だ。

需要鈍化の主な理由については◇これまで世界 経済を支えてきた各国の景気対策が終了する◇企 業の在庫積み増しが終了する◇顧客産業の多くで 生産能力の調整が終了する――を挙げた。

一方、独機械業界の主な経済指標をみると、2010年1~7月の売上高は前年同期比1.0%増の923億ユーロに拡大した。輸出は695億ユーロで5.7%増加している。6月時点の受注残高は1年前の4.8カ月から5.2カ月に増え、7月の工場稼働率も前年同月の69.2%から82.9%へと大きく上昇した。

(MaschinenMarkt2010年10月8日付)

◆ドイツの対ロシア機械輸出、好調続く

ドイツ機械工業連盟 (VDMA) は28日、今年1~7月期のロシア向け機械輸出が前年同期比9%増の30億ユーロに達したと発表した。ドイツの対ロシア機械輸出は1993年の17億ユーロから一貫して増加を続けており、2008年には80億ユーロとなり過去最高を記録した。ロシアでは食品、包装、建機、工作機械を中心としてドイツ製機械への需要が高い。同国での機械機器のシェアは約25%を誇り、2位以下のイタリア (11.4%)、カナダ (9.4%)、米国 (7.1%) を大きく引き離している。

(MaschinenMarkt 2010年9月28日付)

◆ドイツ: VDW 専務理事、ドイツ工作機械産業の 現状を語る

ドイツ工作機械工業会 (VDW) の Dr. Wilfried Schafer 専務理事は9月28日、シュトゥットガルトで開かれた AMB 2010工作機械展示会でドイツエ

作機械産業の現状を次のように語っている。

過去2年の経済不況期の不振とは対照的に、今年 上期のドイツ工作機械メーカーの受注は前年同期 比58%増で、国内受注が51%増、海外受注が61% 増となった。

製品別には海外受注の倍増が寄与して機械加工 技術関連の受注が75%増、工作機械生産の27%を 占める鍛圧技術関連の受注が25%増となっている。

今年7月時点の設備稼働率は史上最低を記録した2009年7月を10%ポイント上回る76.3%だった。 受注の増加で今年6月時点の受注残高は6.9ヵ月分となった。

4、5月に微増した雇用は6、7月に再び減少して6万3,100人に留まっているが、IFO経済研究所によれば、今年第3四半期に中核労働力の雇用削減を予定している工作機械メーカーは少数に留まり、雇用削減は今後3ヵ月で底を打つと判断される。

ただ他の指標とは対照的に、今年上期の工作機 械生産だけが、前年同期比20%減となっていて、 このため2010年通年では生産額が前年比12%減の 90億ユーロにまで落ち込むとVDWは予想している。

ただ金属製品、航空宇宙、自動車はじめ顧客業 種がいずれも生産見通しを上方修正しているので、

長期的には工作機械生産の展望は明る いといえる。

今年上期の工作機械需要の回復を支えたのはBRIC諸国を中心にした海外需要だった。このため今年第2四半期の工作機械輸出は前年同期水準に回復したが、第1四半期の輸出不振が響いて、今年上期の輸出実績は前年同期を13%下回る結果になっている。

アジアでは中国が工作機械の最重要 輸出市場で韓国がこれに続いている。

米州では米国の需要が引き続き低迷しているが、 ドイツ工作機械のブラジル向け輸出は前年比17% 増となった。対照的に、欧州向け輸出は前年比 25%減と不振を続けている。なお本年上期のドイ ツの工作機械輸入は前年比33%減となっている。

VDWはドイツ工作機械産業のグローバル・ポジションの拡大に努めているが、ドイツ工作機械輸出の40%を占めるアジア、特に25%強を占める中国がドイツにとって戦略的に重要な市場になっている。

ドイツは研究開発の強化、省エネ設計の採用など製品の改良、資材・部品調達と生産の最適化、コスト構造の改善で、日本、韓国、それに中国のライバル企業との競争に臨む計画だ。

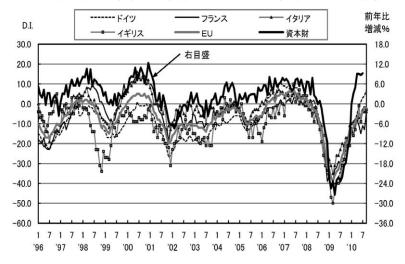
(VDW プレスリリース 2010年10月1日付)

◆欧州: EU主要国製造業景気動向指数(D.I.)と資本財生産月次推移(9月)

欧州委員会の発表した2010年9月のEU主要国製造業景気動向指数 (D.I.) (修正後)によると、EU全体では横ばいで推移している。国別では、フランスが9ポイント、ドイツが3ポイント夫々上昇したものの、イタリアは横ばい、イギリスは1ポイント後退している。

一方、ユーロ圏の資本財生産については、2010 年7月は前年同月比で9.2%増となった。なお、 2010年8及び9月の数字は未発表である。

EU主要国製造業景気動向指数(D.I.)と資本財生産月次推移



(欧州委員会 Monthly Survey of Manufacturing Industry 及び Industrial Production 調査)

3. 工作機械関連企業動向

◆米国: Hurco 社、2010 年度第3 四半期の決算を 発表

金属切削・鍛圧機械産業向けの対話型コンピューター制御システムと同ソフトウエア、コンピューター化工作機械を設計、製造するHurco Companies, Inc.社の2010年度第3四半期(2010年7月31日期末)の純損失は117万3千ドルで、赤字幅は2009年度同期の123万1千ドルを若干下回った。

2010年度当初9ヵ月の純損失は458万2千ドルで、271万2千ドルの相殺利得を充当して赤字幅が115万8千ドルに収まった前年同期の純損失を大きく上回った。赤字拡大は、2010年度にはこの相殺利得が発生しなかったためである。

売上高は2010年度第3四半期が前年同期比39% 増の2,647万4千ドル、2010年度当初9ヵ月が5%増 の7,117万8千ドルだった。

2010年度当初9ヵ月の地域別売上高は、北米 1,911万4千ドル(前年同期比12%減)、欧州4,325 万4千ドル(1%増)、アジア・太平洋881万ドル (164%増)だった。

2010年度第3四半期の販売増には各地域で縦型マシニングセンタが寄与している。また、アジア・太平洋地域の販売増には中国とインドにおけるHurco社の低価格・エントリーレベル機のVMシリーズが寄与している。

新規受注は、2010年度第3四半期が前年同期比56%増の2,081万3千ドル、2010年度当初9ヵ月が前年比31%増の7,921万3千ドルだった。

また、売上総利益率は2010年度第3四半期が 18%で2009年度第3四半期の28%を大きく下回った。減産による製造コストの増加、利幅の薄い低価格・エントリーレベル機の増加が2010年度第3四半期の収益性低下の主因である。

(Hurco社プレスリリース 2010年9月3日付)

4. その他

◆ユーザー関連トピックス

スウォッチ、レーザー機器子会社を売却

独米系のレーザー機器メーカー Rofin-Sinar Technologies (ハンブルク/プリマス) は1日、時計大手スウォッチのレーザー機器子会社LASAGを買収すると発表した。製品の幅と顧客層を拡大する狙い。取引金額などの詳細は公表しないことで合意した。スウォッチは経営資源を中核事業に集中する戦略を打ち出している。

LASAGは1974年の設立で、スイスのトゥーンに本社を置く。医療機器、自動車、電機、航空宇宙産業向けに切断・穿孔・溶接用レーザー機器などを製造している。従業員数は約80人で、米国、日本、ドイツ、イタリアにも事業拠点を置く。Rofin-Sinarは買収後、トゥーンとシカゴの拠点を維持するとしている。

Rofin-Sinar は独ハンブルクと米プリマス(ミシガン州)に本社を置き、独米のほか、英国、スウェーデン、フィンランド、シンガポール、中国に工場を持つ。レーザー光源や素材加工用のレーザー機器を製造しており、顧客数は3,000を超えるという。(PR Newswire 2010年10月1日付)

中国:中国の建設機械大型化の方向に向け発展

10月14日、中国機電産品進出口商会の記者会見が北京で開催された。そこでの情報によると、中国の建機産業は年産500億ドルの産業規模に達しているという。中国機電産品進出口商会の劉春秘書長は次のように語っている。「すでに、掘削機械・土工機械・クレーン・コンクリート機械など、多くの製品と産業クラスターを形成しており、年産額は500億ドルに迫る規模に達している。また、中国企業は積極的に国際市場を開拓している。2009年の中国の建機輸出額は47億ドルを超え、国際市場でのシェアは10%に達した。鉄道建設や海上の大型橋梁、エネルギー開発などの重要事業に

対応する必要から、建機産業は大型化の方向に向 け発展しており、これに応じた研究開発能力や生 産能力が確立されつつある」。

(新華社新華網ニュース 10月18日付)

中国:中国自動車産業はまだ過熱ではない=中国汽車工 業協会

中国汽車工業協会の董揚常務副会長は17日、「中 国自動車産業を全体的にみれば、安定的で持続可 能な成長期に突入しており、まだ発展における過 熱問題は発生していない。」と述べた。同氏による と「2010年第3四半期(7~9月)の成長率は14~ 17%の間となるだろう。これは比較的適正な成長 ペースだ。中国の自動車生産・販売の成長率は高 成長から合理的な成長段階へと転換し、第3四半期、 自動車生産・販売は全体的に安定した正常な成長 ぶりに復帰している」という。中国汽車工業協会 は、10年、中国の自動車生産・販売量は09年と比 べ、25%増の1700万台に達し、15年までに中国自 動車市場の需要量は2500万台に達すると予想して いる。十堰(湖北省)について言及があり、中国 自動車工業協会から「中国トラックの都」との称 号を授けられた唯一の都市、「中国ナンバー1、世 界ベスト3|にあたる商用車生産基地とのこと。十 堰は15年までに全市の自動車生産・販売量100万台 を目標とし、自動車工業の総生産を1000億元にす るように注力する方針。

(新華社新華網ニュース 10月18日付)

インド:日産自動車の新型グローバルセダン、インドで も生産

日産自動車は10月12日、新開発の「Vプラット フォーム」を使用したグローバルセダンのスケッ チを公開した。インド法人、日産モーター・インデ ィア(NMIL)の徳山公信社長によれば、このグロ ーバルセダンは今年5月に操業を開始したチェン ナイ近郊オラガダム工場で、コンパクトカー「マイ クラ | に続く第2弾車種として生産される予定。新 型グローバルセダンは今年12月に中国で開催され る第8回広州国際モーターショーで初披露される。 徳山社長によれば、インド発売は2011年後半とな る見通し。

(インドビジネスセンター 10月13日付)

インド:自動車部品の独ZF、プネ工場の稼働を開始

独自動車部品大手ZFのインド法人、ZFステアリ ング・ギア・インディアは10月13日、インドの主 な自動車産業集積地の一つであるマハラシュトラ 州プネに建設した大型商用車用トランスミッショ ン工場の稼動を開始した。プネ工場は敷地面積約 5.000平米で、車両総重量40トンを超える大型商用 車用の9速トランスミッションを生産。年間能力 は2万5,000基に上る。ZFは、インドで生産するト ランスミッションの部品現地調達率を、中期的に、 80~85%程度まで引き上げたい考え。プネ工場で 生産するトランスミッションは、アジア・モーター ワークスやアショク・レイランド、マヒンドラ・ ナビスター、ボルボ・アイシャーといった既存顧客 のほか、新規顧客向けにも供給される。工場の従 業員規模は、当面は80人だが、生産規模の拡大に 合わせて150人まで増やす予定。

(インドビジネスセンター 10月15日付)

風力発電設備業界に再編の機運

風力発電設備業界で今後、業界再編が始まる見 通しだ。経済危機の影響で新規の風力発電プロジ ェクトの資金繰りが困難なうえ、米国の風力発電 市場の不振を受け世界的に供給過剰に陥っている ことが背景にある。中国を中心に新規の設備メー カーも増加しており、米ゼネラル・エレクトリック (GE) で欧州再生可能エネルギー事業を担当するシ ュテファン・リッター取締役は「今後3~4年で業 界の勢力地図は大きく変わる」と予想している。 『フィナンシャルタイムズ (ドイツ語版)』紙が20 日、報じた。

同業界では世界最大手のデンマークのVestasや

ドイツの中堅メーカー Nordex、Repower を新興勢力が追い上げている。Vestas のハンス-ョルン・リークス欧州社長は「市場が今よりも成長すれば供給過剰は解消するが、今の状態が2~3年続けば中小サプライヤーを中心に生き残れないメーカーも出てくる」と指摘。さらに、「発電大手がGEや独シーメンスなど発電設備一般を扱う大手メーカーと組んで風力発電プロジェクトを実施する機会が増えている」として、「長期的にはプロジェクトデベロッパーは姿を消す」と予測する。Nordex のトーマス・リヒタリヒ社長は「GEとシーメンスは3~5年で最大手 Vestas を追い抜く」とみている。

中国では政府の支援を受け、この5年で約80社の風力発電設備メーカーが誕生した。ただ、Vestasのリークス欧州社長は、ここでも再編が進むため「長期的に生き残れるのは最大で5社」と見込む。また、中国メーカーの台頭で価格破壊が進み、欧州メーカーの収益が大幅に押し下げられた太陽光発電設備業界の二の舞になることを懸念している。

風力発電タービンの価格はここ数カ月の間にすでに米国で8~12%、欧州で5~7%下落。Vestasの今年第2四半期の最終損益はこれを受けて1億1,900万ユーロの赤字に転落した。

(Financial Times Deutschland 2010年9月20日付)

独ボッシュ、トルコに5億ユーロ投資へ

自動車部品大手の独 Bosch(シュツットガルト)は2010~13年の4年間でトルコに5億ユーロを投資する。同国が生産・輸出拠点としてのほか、研究開発拠点としても重要性が高まっていることに対応する。24日にイスタンブールで開催されたトルコ進出100周年記念式典で同社のフェーレンバッハ社長が明らかにした。

Boschは1910年にトルコに販売拠点を設置し同 国進出を果たした。1973年には工場も建設して現 地生産を開始。現在はブルサ工場でコモンレール 式ディーゼル燃料噴射システムや建機・トラクタ 一向け油圧部品、マニサ工場でガス暖房機器、テ キルダーで白物家電を生産している。

73年からこれまでの現地投資額は14億ユーロで、そのうち10億ユーロをこの10年間に実施した。新たな投資ではディーゼル・ガソリンエンジン向けの燃料噴射システムの生産・開発拠点の拡張などに投資。現在200人強の開発要員も2013年までに70人追加する。

Boschのトルコ市場売上高は今年7億5,000万ユーロとなり、前年から約20%増加する見通し。輸出も含めるた現地子会社の売上高についてはおよそ20%増の16億ユーロを見込む。

(Bosch 2010年9月24日付)

独オペル、ハンガリーに5億ユーロを追加投資

米自動車大手ゼネラルモーターズ (GM) の独子会社オペルは21日、ハンガリー工場で新型エンジンを生産する計画を発表した。投資規模は5億ユーロで、2012年末までに生産を開始する。ハンガリー政府は来月、投資計画に対する支援の規模を決定する予定だ。

今回のプロジェクトにより、オペル・セントゴットハルド工場の年産能力は、現在の約25万基から2014年までに75万基に拡大する。また、近代的な製造設備により、需要の変化に柔軟に対応することが可能になる。

生産するのは、小型・中型ガソリンエンジンと中型ディーゼルエンジンの3種類。欧州連合(EU)の排ガス基準「ユーロ6」をクリアできる水準という。新型エンジンは、鉄道を使ってオペルのドイツ、英国、ポーランド、スペイン工場に輸送され、小型車「コルサ」から中型セダン「インシグニア」まで幅広いラインアップに搭載される。

セントゴットハルト工場は1990年の設立。ハンガリー西部に位置し、オーストリアの国境に近い。 従業員数は現在600人で、新型エンジンの生産に向けて新たに約800人が雇用される見通し。

オペルはハンガリー子会社の設立以来、同国に 総額5億ユーロを投じてきた。今回のプロジェク トで投資残高が倍増することになる。 (Autoevolution 2010年9月21日付)

伊ブレーキ大手、チェコ工場設立へ

ブレーキシステム大手の伊ブレンボは13日、チェコ北東部オストラバに新生産拠点を開設すると発表した。2013年までに3,500万ユーロを投資し、ブレーキ部品を生産する。

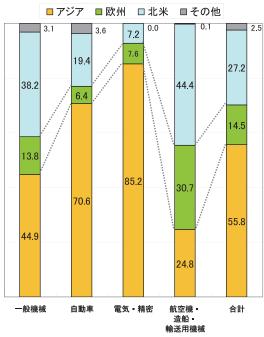
同社によると、現地の既存工場を全面改装し、11年からブレーキキャリパーとブレーキナックルを生産する。生産規模は年間150万基を予定している。オストラバの新工場は既にランドローバー、BMW、ゼネラルモーターズ、アウディから受注を獲得しており、14年の売上高で5,500万ユーロを見込んでいる。

(Automotive World 2010年9月15日付)

5. 日工会外需状況(9月)

9月分の外需

業種別に見た主要3極の構成比



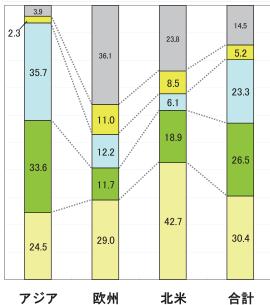
出所:日本工作機械工業会

- 〇一般機械は、北米の回復により4割弱を占め、アジアは5割を下回った。
- ○自動車は、北米が2割弱まで増加した 一方、欧州は1割に満たないレベルで依然 厳しい状況が続いている。
- ○電気・精密では、依然アジアが9割弱を占め、電子部品やIT関連、家電等で中国を中心に盛んな需要が引き続き見られている。
- ○航空機・造船・輸送用機械は主要3極でほぼ すべてを占め、欧米で全体の4分の3を占め ている。

9月分の外需

主要3極別に見た業種別構成比

□ 一般機械 ■ 自動車 □ 電気・精密 ■ 航空機・造船・輸送用機械 □ その他



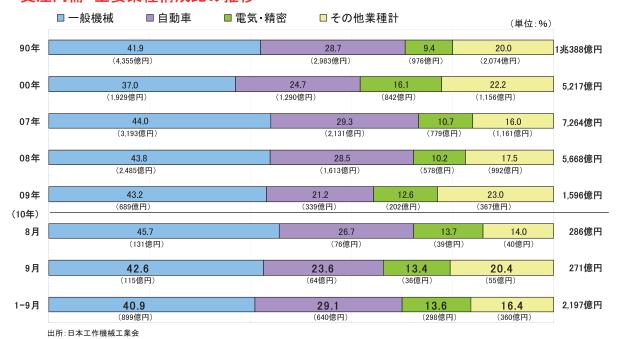
出所:日本工作機械工業会

- ○アジアにおける主要業種の占める割合は前月とほぼ同様の傾向を示しており、自動車、電気・精密で引き続き旺盛な需要が見られている。
- ○欧州は、一般機械が最も高いウェイトを占め、自動車、電気・精密、航空機・造船・輸送用機械が10%強とほぼ同じ割合になった。
- 〇北米は、主要業種すべてで増加が見られた結果、占める割合は前月とほぼ同様で、 一般機械が4割を超えている。

ウッズAMT専務理事コメント(8月分)

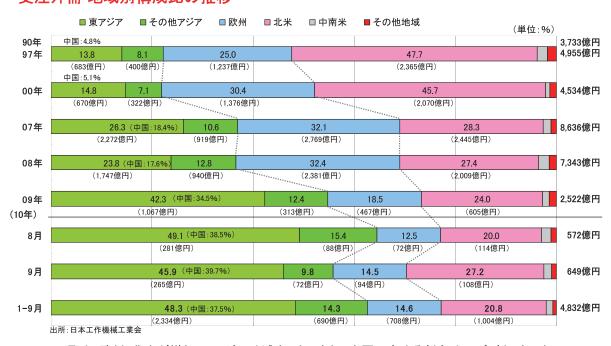
受注は夏に若干の減速傾向が見られたものの、1-8 月累計では前年同期比+60%で推移した。これは 特別償却制度の効果と考えられ、議会が本制度を 年内まで延長すれば、受注水準は維持されるだろう。

受注内需 主要業種構成比の推移



9月は、主要業種すべてで前月比マイナスとなったため、その他業種計の割合が増加した。1-9月累計を09年と比較すると、自動車の割合が高くなっており、3割近い水準となっている。

受注外需 地域別構成比の推移



9月は、欧州・北米が増加し、アジアは減少した。また、中国の占める割合はほぼ4割になった。 1-9月累計を09年と比較すると、アジアの割合が62.6%を占め、09年計よりも拡大している。